

人が集まり、安心して元気に暮らせるまちをつくらう

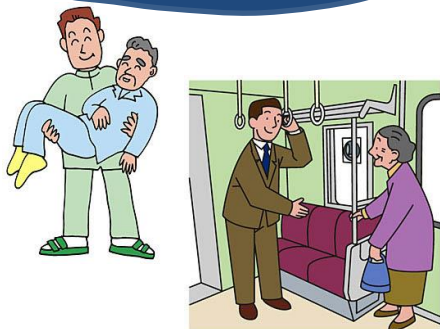
(分野:保健、福祉、子育て、教育、人権、生きがい)

《提案のねらい》

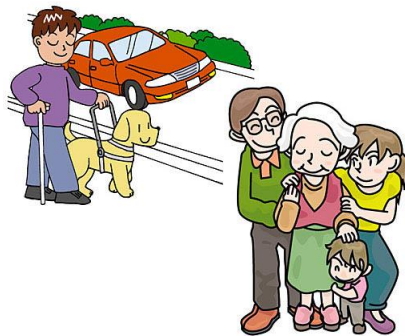
安心の暮らしと人づくりグループでは、人が集まり、安心して元気に暮らせるまちをつくることを目的とした5つのまちづくりのテーマをまとめました。具体的には、「みんなが仲良く助け合えるまちづくり」、「高齢者・障害者が暮らしやすいまちづくり」、「安心して育児ができるまちづくり」、「たくさんの人が集まるまちづくり」、「安心して健康に暮らせるまちづくり」にわけて提案しています。

《提案の全体像》

みんなが仲良く
助け合えるまちづくり



高齢者・障害者が
暮らしやすいまちづくり



安心して育児が
できるまちづくり



たくさんの人が
集まるまちづくり



安心して健康
に暮らせるまちづくり



安心の暮らしと人づくりグループからの提案

《提案の内容》

1 みんなが仲良く 助け合えるまちづくり

「みんなが仲良く助け合えるまちづくり」では、出会いのための環境整備、助け合いのための理解促進について提案しています。

《特に力を入れてほしい取組み》

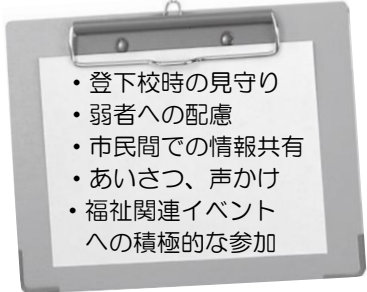
みんなで取り組もう！

テーマ1 助け合える 場所づくり

- 皆が気軽に集える場をつくる
みんなで助け合うには、助けを求めている人と手を差し伸べてあげられる人が出会う場が必要です。
- 高齢者と子ども達がふれあえるための環境整備
高齢者施設と保育施設の融合などの取組みが必要です。

テーマ2 助け合える 人づくり

- 学校等での福祉教育の推進
(例：看護学生等による出前講座や体験活動の実施など)
- 介護・育児サポーターの育成
介護や育児など、支援するための仕組みづくりが必要です。

- 
- 登下校時の見守り
 - 弱者への配慮
 - 市民間での情報共有
 - あいさつ、声かけ
 - 福祉関連イベントへの積極的な参加

《提案の内容》

2 高齢者・障害者が 暮らしやすいまちづくり

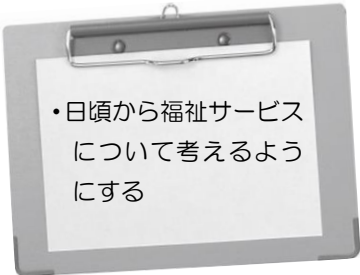
「高齢者・障害者が暮らしやすいまちづくり」では、福祉サービスの効果的な情報提供や共有について、高齢者・障害者の雇用や雇用・活躍の場の創出について提案しています。

《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！


テーマ1 福祉サービスの 情報提供 と共有

- 相談窓口の一本化やコーディネーターの配置
どこに相談したらいいか、誰に相談したらいいかという課題を解決することが必要です。
- 事業者間の情報交換体制の整備
高齢者福祉と障害者福祉分野間の情報共有などが必要です。

- 
- 日頃から福祉サービスについて考えるようにする

テーマ2 雇用・活躍 の場の創出

- 障害等の特性に合わせた職業訓練や紹介
- シルバー人材センターの機能の強化
雇用の場を創出するための取組み強化が必要です。
- 社会参画の支援
知識や経験を社会に活かすための仕組みづくりが必要です。
- 交流会の開催（高齢者合コンなど）

- 
- 受入側の理解促進

安心の暮らしと人づくりグループからの提案

《提案の内容》

3 安心して育児ができるまちづくり

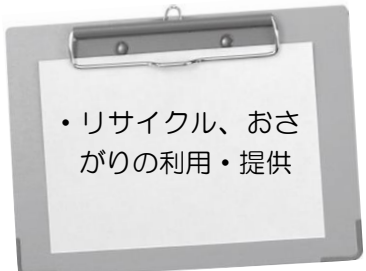
「安心して育児ができるまちづくり」では、育児にかかる経済的負担の軽減、育児と仕事の両立について提案しています。

《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！

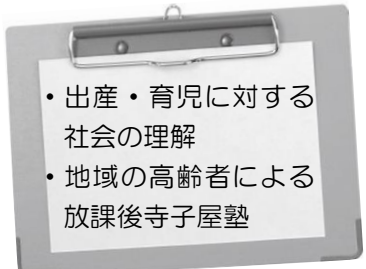
テーマ1 経済的負担の 軽減

- 第2子保育料無料化の継続
- 多子世帯へのインセンティブ
安心して育児をするためには、特に経済的負担が大きい多子世帯への支援が必要です。（経済的支援や税制上の優遇措置など）

- 
- リサイクル、おさ
がりの利用・提供

テーマ2 育児と仕事の 両立のための 支援

- 延長保育の強化や病時保育施設の拡大
安心して仕事ができる保育体制の強化が必要です。
- 多様で柔軟な働き方の理解と推進
雇用者側の柔軟な対応が必要です。（フレックスタイム導入等）

- 
- 出産・育児に対する
社会の理解
 - 地域の高齢者による
放課後寺子屋塾

《提案の内容》

4 たくさんの方が 集まるまちづくり

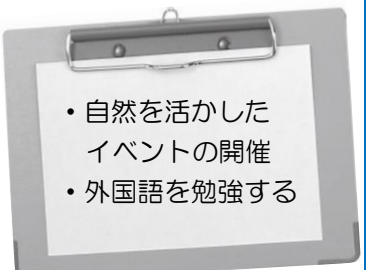
「たくさんの方が集まるまちづくり」では、市民や観光客が集まる場所づくりや、企業や大学が集まり、人も集まるような研究学園都市について提案しています。

《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！

テーマ1 みんなが 集まる場所 づくり

- 自然を活かしたアクティビティの整備
市民や観光客が楽しめる自然公園等が必要です。
- 外国人観光客を呼び込む環境整備
（看板等の多言語化など）
- 移住者向け体験施設（民泊施設や長期滞在施設での田舎暮らしなど）の整備
移住までのハードルを下げるために、体験的に滞在できるような施設や仕掛けが必要です。

- 
- 自然を活かした
イベントの開催
 - 外国語を勉強する

安心の暮らしと人づくりグループからの提案

《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！

テーマ2
企業や大学が
集まる研究
学園都市を
つくる

- 大学（医学部）、研究所の誘致
長崎医療センターを核とし、特に医療系企業や大学等を誘致するための取組みが必要です。
- 誘致企業への税制等の優遇措置
- 誘致大学や研究所への進学促進
誘致した大学等への進学や就職ができるような取組みを行い、人口流出を防ぐことが必要です。

《提案の内容》

5 安心して健康
に暮らせるまちづくり

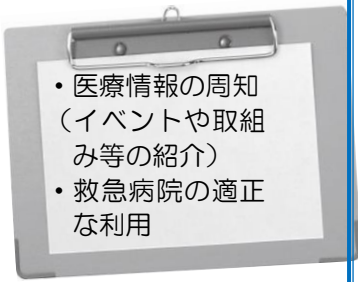
「安心して健康に暮らせるまちづくり」では、救急体制や医療機関同士の連携について提案しています。

《特に力を入れてほしい取組み》

みんなで取り組もう！

テーマ1
医療体制の
充実

- 救急車の台数を増やす（適正台数の配置）
救急車の台数に余裕がないため、混雑時にも短時間で到着できるような体制整備が必要です。
- 医療機関同士のネットワークの構築による情報連携の強化
病院を移っても、スムーズな治療が行えるような情報連携ができる仕組みづくりが必要です。
- 医療技術の向上や能力開発の機会をつくる

- 
- 医療情報の周知（イベントや取組み等の紹介）
 - 救急病院の適正な利用